

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第5学年 「社会（東京書籍）」

70時間（70%）

週	内容	小単元名	主な学習内容	時間数	留意点
1 わたしたちの国土					
※空欄は通常の年間指導計画の時間数で対応。					
1	(1) アー (ア) (ウ), イー(ア)	オリエンテーション 1. 世界の中の国土	世界の中の日本 世界の国々と日本の位置や国旗 多くの島からなる日本 領土をめぐる問題 表にまとめる	1 1 1 1	・各国には国旗があることを理解し、それを尊重する態度を養うようにする。 (通常時数1) ※我が国固有の領土について必ず扱う。
2	(1) アー (イ) (ウ), イー(イ)	2. 国土の地形の特色	空から国土をながめてみよう 国土のさまざまな地形 日本の川や湖の特色 白地図にまとめる	1 1 1	
3	(1) アー (イ) (ウ), イー(イ)	3. 低い土地のくらし ―群馬県海津市― (※選択)	堤防に囲まれた土地 学習の進め方 水害とたたかってきた人々 豊かな水を生かした農業 水を生かした生活 ノートにまとめる	1 1 1 1	・見方・考え方 (P24「活用のポイント」) に関する事項を扱う。
3 ※		3. 高い土地のくらし ―群馬県嬬恋村― (※選択)	山のすそ野に広がる高原 学習の進め方 あれ地を耕し広い畑に 夏に新鮮なキャベツをとどける 自然のめぐみを生かす ノートにまとめる	1 1 1 1	・見方・考え方 (P24「活用のポイント」) に関する事項を扱う。
4	(1) アー (イ) (ウ), イー(イ)	4. 国土の気候の特色	四季の変化がある日本の気候 つゆと台風、季節風 地域によってことなる気候 ノートにまとめる	1 1	・つゆと台風、季節風の影響を必ず扱う。
4 ※	(1) アー (イ) (ウ), イー(イ)	5. あたたかい土地のくらし ―沖縄県― (※選択)	沖縄県の家やくらしのくふう あたたかい気候に合った農業 あたたかい気候を生かした観光と沖縄県の課題 古くからの文化を守る 表にまとめてキャッチコピーをつくる	1 1 1	・農業についてはその利点、観光業についてはその課題を、人々の生活と関連付け、まとめて扱う。
4 ※		5. 寒い土地のくらし ―北海道― (※選択)	北海道の家やくらしのくふう 札幌市の雪対策と雪を生かした観光 十勝地方の自然を生かした農業 守ってきた文化を受けつぐ 表にまとめてキャッチコピーをつくる	2 1	・雪の多い地域の産業と人々の生活とを関連付け、まとめて扱う。
2 わたしたちの生活と食料生産					
給食の材料 (オリエンテーション)					
5	(2) アー (ア) (ウ), イー(ア)	1. くらしを支える食料生産	産地調べ 日本の米づくり 農産物の産地 地図にまとめる	1 1 1	・学習問題について、調べ整理させたことを基に、白地図等にまとめさせる課題を出し、確認する。
6	(2) アー (イ) (ウ), イー(イ)	2. 米づくりのさかんな地域 ―山形県庄内平野―	庄内平野をながめて・地形と気候の特色 米づくりのさかんな庄内平野 弥津さんの米づくり 生産性を高める米づくりのくふう 庄内平野の米づくりを支える人たち	1 1 1	・地域の気候の特色を扱う。 ・米づくりの様子と米の生産性を高めるための工夫を関連付けて、まとめて扱う。
7			おいしい米を全国に 米づくり農家のかかえる課題と新しい取り組み これまでの学習をふり返る	1 1	
8	(2) アー (イ) (ウ), イー(イ)	3. 水産業のさかんな地域	魚を消費する日本 魚を集めてとるまきあみ漁 長崎漁港から食卓へ つくり育てる漁業 すり身からかまぼこをつくる	1 1 1 1	・身の回りの水産物を扱う。
9			日本の水産業がかかえている課題 プレゼンテーションソフトを使ってまとめる	1	・学習問題について、調べ整理させたことを基に、まとめた文章で記述させる課題を出し、確認する。
10	(2) アー (ア) (ウ), イー(ア)	4. これからの食料生産とわたしたち	日本の食料生産をめぐる課題 わたしたちの食生活の変化と食料生産 食の安全・安心への取り組み 食料を安定して確保する これからの食料生産について考える いかす 食料生産の新たな取り組み	1 1 1 1	・消費者や生産者の立場等から多角的に考えて、これからの農業などの発展について、自分の考えをまとめる課題を出し、確認する。
3 わたしたちの生活と工業生産					
わたしたちの生活をとりまく工業製品 (オリエンテーション)					
	(3) アー (ア) (エ), イー(ア)	1. くらしを支える工業生産	わたしたちの生活に役立つ工業製品 日本の工業生産の特色 工業のさかんな地域の分布と特色 ノートにまとめる	1 1	・家庭学習の時間を活用し、事前に教科書P6、7にある日本の工業生産の特色が分かるグラフや地図の読み取りをさせる。

11	(3) ア (イ)(エ), イ(イ)	2. 自動車をつくる 工業	変わってきた自動車	1	・教科書P10、11にある自動車の移り変わりの写真や、自動車に変化してきた様子が見られるグラフなど活用し、学習問題及び学習計画を立てる。
			さかんな自動車工業		
			自動車を組み立てる工場	1	
			自動車の部品をつくる工場	1	
12	(3) ア (ウ)(エ), イ(ウ)	5時間	世界とつながる自動車	1	・現場学習が実施できない場合は、「自動車工場」等の写真や動画等を活用する。
			人々の願いに合わせた自動車開発	1	
			新聞にまとめる	1	
			工業製品の輸送と日本の貿易	1	
13	(3) ア (ウ)(エ), イ(ウ)	3. 工業生産を支える 輸送と貿易	全国へ運ばれる工業製品	1	・学習問題について、調べ整理させたことを基に、まとめを文章で記述させる課題を出し、確認する。
			日本の輸入の特色	1	
			日本の輸出の特色	1	
			これからの社会に向けて	1	
14	(3) ア (ア)(エ), イ(ア)	4. これからの工業生産 とわたしたち	日本の工業生産の特色	1	・学習問題について、調べ整理させたことを基に、文章でまとめを記述させる課題を出し、確認する。
			昔から伝わる工業生産	1	
			高い技術をほこる工場が集まる大田区	1	
			日本の工業生産の課題	1	
15	(4) ア (ア)(ウ), イ(ア)	4時間	話し合っ	1	・家庭学習の時間を活用しながら、事前にこれからの工業の発展について、自分の考えをまとめさせる。
			いかす	1	
			これからの工業生産に大切なこと	1	
			4 情報化した社会と産業の発展		
16	(4) ア (ア)(ウ), イ(ア)	わたしたちをとりまく情報 (オリエンテーション)	1. 情報産業とわたしたちの暮らし	2	・情報の収集と発信を関連付けて、まとめて扱う。
			テレビから伝えられる情報		
			ニュース番組をつくる現場		
			ニュース番組をつくるための情報収集	1	
17	(4) ア (イ)(ウ), イ(イ)	2. 情報を生かす産業	集めた情報を番組にしてとどける	1	・学習問題について、調べ整理させたことを基に、関係図等にまとめる課題を出し、確認する。
			情報を上手に生かす	1	
			フローチャートにまとめて話し合う	1	
			暮らしを支える産業と情報の活用	1	
18	(4) ア (イ)(ウ), イ(イ)	3. 情報を生かす わたしたち	情報を活用しては販売する	1	・家庭学習の時間を活用して、事前に消費者や生産者の立場等から多角的に考えて、これからの農業などの発展について、自分の考えをまとめさせる。
			情報を生かしてものを運ぶ	1	
			情報の活用によるサービスの広がり	1	
			関係図にまとめる	家庭	
19	(5) ア (ア)(エ), イ(ア)	1. 自然災害を防ぐ	あふれる情報	1	・家庭学習の時間を活用して、事前に消費者や生産者の立場等から多角的に考えて、これからの農業などの発展について、自分の考えをまとめさせる。
			情報活用のルールやマナー	1	
			調べ学習とインターネット	1	
			情報活用について話し合う	1	
20	(5) ア (イ)(エ), イ(イ)	2. わたしたちの生活 と森林	いかす 情報活用宣言	1	・家庭学習の時間を活用して、事前に消費者や生産者の立場等から多角的に考えて、これからの農業などの発展について、自分の考えをまとめさせる。
			5 わたしたちの生活と環境		
			自然環境とかかわっていく大切さ (オリエンテーション)	1	
			1. 自然災害を防ぐ	3	
21	(5) ア (ウ)(エ), イ(ウ)	3. 環境を守るわたしたち	自然災害が多い日本の国土	1	・家庭学習の時間を活用して、事前にそれぞれの災害への取り組みを関連付けながら、ワークシート等にまとめさせる。
			地震災害への取り組み		
			津波災害への取り組み		
			風水害への取り組み		
20	(5) ア (イ)(エ), イ(イ)	2. わたしたちの生活 と森林	火山の噴火や大雪への取り組み	家庭	・学習問題に対する考えをノート等にまとめる課題を出し、確認する。
			ノートにまとめる	1	
			日本の森林	1	
			森林とのかかわり	1	
21	(5) ア (ウ)(エ), イ(ウ)	3. 環境を守るわたしたち	貴重な水資源をもつ京都市	1	・公害とその種類などを扱う。
			生活が便利になる一方で	1	
			美しい鴨川を取りもどすために	1	
			取りもどした環境を守るために	1	
21	(5) ア (ウ)(エ), イ(ウ)	4時間	さまざまな森林の働き	1	・学習問題について、調べ整理させたことを基に、まとめを文章で記述させる課題を出し、確認する。
			木材をつくり出す森林	1	
			守っていききたい森林	1	
			つながりを考えて話し合う	1	
21	(5) ア (ウ)(エ), イ(ウ)	4時間	豊かな水資源をもつ京都市	1	※国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるようにする。
			生活が便利になる一方で	1	
			美しい鴨川を取りもどすために	1	
			取りもどした環境を守るために	1	
21	(5) ア (ウ)(エ), イ(ウ)	4時間	つながりを考えて話し合う	1	※国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるようにする。
			いかす	1	
			ことなる立場から考えよう	1	
			ことなる立場から考えよう	1	

※時間数の精選方法 (例)

○授業の工夫

- ①多くの学習活動を設定するのではなく、単元の課題 (学習問題) の解決や本時のめあての達成につながる学習活動を設定するなど精選を図る。
- ②既習事項を生かして、調べまとめなど、課題を解決するための方法を工夫する。
- ③プレゼンテーションソフト等でまとめる作業に時間を割くのではなく、学習問題について調べてきたことをノートやワークシート等に整理させたり、文章で記述させたりするなどの活動に重点を置くなど、単元末のまとめ方を工夫する。
- ④グラフや写真資料等の特性に留意した読み取り方について、まとめて指導したり、資料の読み取り方のマニュアル等を作成し、学級全体で共有したりするなど、指導の工夫をする。
- ⑤学習したことを家庭学習の時間を活用しながらまとめさせることで時数の確保に努め、資料などを用いて説明したり、根拠や理由などを明確にして議論したりする活動を位置付けられるようにする。
- ⑥「ひろげる」については、読み物資料として扱ったり、適宜、学習の中で取り上げたりする。

○家庭学習との連携

- ①次時の授業に向けて、事前に、教科書を読んだり、資料を読み取ったりさせる。
- ②授業で学んだことについて、家庭でノートやワークシートにまとめさせたり、確認問題をさせたりする。
- ③各児童の学習のまとめや振り返りの内容を共有するために、ノートのコピーを児童に配布するなどの工夫をする。